

〈旭川まちなかプロジェクト〉

旭川平和通商店街振興組合・イオンモール旭川駅前・旭川市による
連携事業(回遊性の促進・共通駐車場の利用)

■旭川平和通商店街振興組合について

戦前、旭川駅から旭橋に至るメインストリートは「師団通」という名称が付けられていたが、終戦に伴い「平和通」に改称され、その通りに面した街区に昭和42年7月、「旭川平和通商店街振興組合」を設立。

また、昭和47年には、その街区内に全国初の恒久的な歩行者専用道路として、「旭川平和通買物公園」が開設。

買物公園は、旭川市の商業の中心として訪れる人も多く、毎年2月に行われている旭川冬まつりの同時開催イベント「氷彫刻世界大会」をはじめ、8月は「旭川夏まつり」、9月には「北の恵み食べマルシェ」の会場の一部となっている。

当商店街は百を超す店舗からなり、大型百貨店や衣料品店、飲食店、靴・カバン・菓子などの製造や販売店、時計・宝石・メガネ・お茶・理美容・玩具などの専門店から構成され、現在の会員数は60となっている。

また、飲食チェーン店の参入が多いことから、店舗が撤退してもすぐに後継店が開業するなど、空き店舗数が少ないことも特徴である。

なお、専門店が多いことから、客の利用頻度が低いのが課題となっており、SNSを活用した情報発信やまちゼミの開催など、商店街と個店の魅力を積極的に発信している。

主な事業として、駐車場の共通駐車券(ラクラクチケット)の発行などを行っている。

■イオンモール旭川駅前について

平成27年3月、旭川駅周辺の再開発「北彩都あさひかわ整備事業」に併せ、旭川ターミナルビル跡地に、道内初の駅直結型モールとして、「イオンモール旭川駅前」がオープン。

道内に6つあるモールの一つで、核店舗の「イオン旭川駅前店」など店舗数は約130店あり、

シネマコンプレックスやフードコート・レストラン街などもある。1日の来客数は平日で約2万人、土日祝日で約3万人を超える。

客層はファミリー層のほか学生や高齢者も多く、年々増加する外国人観光客は全体の1%を占めている。

商圏は富良野や北見まで及んでおり、JRで旭川駅を利用した人の多くが店舗に足を運んでいる。

また、観光振興の取組として、買物公園にある旭川総合観光情報センター(あさテラス)と連携し、1階のインフォメーションで周辺の観光地や公共交通機関の案内をしているほか、外国人観光客向けに、館内フリーWi-Fiや海外冷凍冷蔵宅配サービスの導入、一部店舗で免税サービスを行っている。



〔イベントの様子1〕

■旭川まちなかプロジェクトについて

中心市街地の活性化を目指し、「旭川平和通商店街振興組合」と「イオンモール旭川駅前」、「旭川市」の3者が連携し、平成28年に「旭川まちなかイベント実行委員会」が組織された。

毎年3者でテーマを定め、旭川駅前広場などを活用し、買物公園川柳やまちなか紅白歌合戦など各種事業を実施している。

〈買物公園川柳〉

毎年、買物公園と関連した「健康」や「食」などのお題で川柳を募集。地元はもとより全国各地から応募があり、応募総数は毎年約 400 句を超える。

特選 3 句、入選 15 句、佳作 30 句を選び、入賞した作品は商店街の街路灯フラッグや「イオンモール旭川駅前」などに掲示され、商店街を回遊するきっかけとなっている。

〈まちなか紅白歌合戦〉

買物公園に足を運んでもらい、旭川に愛着を持ってもらうことを狙いに学生対抗歌合戦として始まった。

平成 30 年からは学生の枠組みを外し、紅組、白組それぞれ 10 組ずつに分かれて、旭川駅前広場に特設ステージを設置し歌合戦を開催。

事前審査も実施するなど本格的な歌合戦となっており、世代を超えた 300 人の来場者が楽しむイベントとなっている。

なお、優勝チームには商店街で利用できる商品券などの賞品が贈られるほか、最優秀歌唱賞も用意されている。

■お買物ラリー

「旭川平和通商店街振興組合」の対象店舗と「イオンモール旭川駅前」の買い物でシールを集め、抽選で参加店の商品や商品券、イオンで使える買い物券が当たるお買物ラリーで、現在も継続している定番イベント。

シールの枚数で当選確率が上がることから、買い物客が店舗に立ち寄る機会が増え、個店の魅力づくりに繋がっている。

■駐車場共有について

「旭川平和通商店街振興組合」では、平成 22 年から買物公園に車で訪れ、様々な店舗でゆっくり買い物ができるよう、旭川駅周辺の 47 駐車場で

使用できる共通駐車券を発行する「ラクラクチケット事業」を実施。現在、「イオンモール旭川駅前」を含め参加加盟店は 128 店となっており、買い物や食事利用額に応じて無料駐車券(60分・120分)を配付することで、多くの店舗を回遊できる仕組みとなっている。



〔イベントの様子 2〕

■連携の効果について

「イオンモール旭川駅前」については、出店段階から商店街と話し合うことが多く、両者のコミュニケーションが取れていたこともあり、イオン側からの声かけで連携事業が始まった。

当該事業により、買物公園周辺の回遊性は高まっており、商店街、イオン双方の来店数も増加している。

また、商店街の各店舗では後継者難や人手不足といった課題があるものの、「イオンモール旭川駅前」との連携事業によるにぎわいの創出は、商店街の個店主のモチベーションを上げている。

■今後について

商店街を含む中心市街地のにぎわいの喪失が懸念されるなか、「旭川平和通商店街振興組合」と「イオンモール旭川駅前」とが協力し、中心市街地をフィールドに事業を毎年継続実施することで、にぎわい創出や恒常的な来街の促進を図り、回遊性の向上を目指していきたいと考えている。

取材先 ■旭川平和通商店街振興組合（旭川市 4 条通 8 丁目 1703 番 5）
TEL 0166-26-0815
■イオンモール旭川駅前（旭川市宮下通 7 丁目 2 番 5 号）
TEL 0166-21-5544（代表番号）